

日本共産党 八尾市会議員団

ニュース



八尾市議員団
公式LINE

八尾市本町1-1-1
八尾市役所内
Tel 991-3881 (2796-2797)
E-mail yao.com@siren.ocn.ne.jp
2025年1月号 NO. 334

12月議会をふりかえって

つねに市民の立場に立って

学校給食から保育虐待まで

個人質問

個人質問では、喫緊の課題である、おいしい中学校給食の実現や保育虐待の問題を取り上げ、紙の保険証の存続や子どもや保護者に寄り添う対応を求めました(2面・3面)。

水道事業

八尾市水道事業が4月から企業団に統合することに伴い、八尾市の条例から水道を抹消するための条例が提案され可決。反対したのは日本共産党の2議席だけでした(2面)。

保育虐待

日本共産党が紹介議員となった保育虐待と保育条件改善を求める請願は、残念ながら採択されませんでした。保育給食の民間委託や学童保育のトイレ問題など議会の中で明らかになりました。

維新の会は、保育虐待の請願

要望項目

小・中学校の学校給食の無償化の継続

国民健康保険料・介護保険料・後期高齢保険料の引き下げ

- 国保は、積立基金約9億円を活用し、市民一人当たり1万5千円の支援金の給付を行うこと。子どもの均等割を廃止すること。
- 介護保険は、積立金など活用し、現在の減免制度の拡充を行い、第一段階の保険料に対する減免制度の新設をすること。
- 後期高齢保険も、基金の活用で保険料負担緩和を行うことを広域連合に働きかけること。

水道料金の基本料金を免除すること。下水道減免を復活させること。

低所得者給付金3万円は非課税世帯だけでなく均等割世帯まで給付すること。

介護事業所に対しての光熱水費の支援など行うこと。その際、介護報酬の引き下げに伴う影響についても聞き取りを行うこと。



市会議員団のホームページを開設しました。

スキャンして!

に反対討論を行い、保育虐待の問題を取り上げることが保育の安定を損なうとの主張を行いました(2面・4面)。

SACHICO存続問題

大阪性暴力救済センター(大阪SACHICO)の存続を求める意見書は維新の反対によって採択できませんでした。

緊急要望書を提出

物価の高騰は続き、給料も年金も上がらず市民の暮らしはますます困難になります。ばかりです。



要望書を提出する(左から)おち・田中議員=15日

日本共産党八尾市会議員団は1月15日、八尾市に対して市民のいのちと暮らしを守るため市の地方創生臨時交付金や積立基

金100億円を活用した施策を、緊急に実施するよう求めました(緊急要望書の要望項目は左)。

「ニュース23」の報道で明らかになった八尾市内の民間の認定こども園の保育虐待。子どもの異変を懸念した保護者のボイスレコーダーによって発覚しました。

国のガイドラインでは、保育所等で虐待等が行われたと判断した場合、十分な心のケア、保護者に対する適切な説明や虐待の事案の公表が必要であると示しています。

しかし、今回の個人質問で、八尾市は『半年たった』現在も調査中であり、保護者への説明会も現在働きかけ中であり、公表も現時点では考えていないということが明らかにになりました。

議会後、田中市議と関係者がこども家庭庁に大門みきし国会議員の同席のもと八尾市への助言やガイドラインの強化

保育虐待の問題を質問

八尾市は子ども・保護者に寄り添う対応を！



こども家庭庁に要請する(正面左から)田中ゆうこ市議と岩狭氏(八尾市から保育虐待なくす緊急行動の会)、大門みきし国会議員=12月24日

を要請。”保護者や子どもに寄り添う対応が重要”であるという認識が示されました。

考えるつどい開催



で院光普つどい考えるつどい開催
11月30日
岩狭氏講演
11月30日

八尾市保育虐待を考えるつどい(2024年11月30日・八尾市から保育虐待をなくす緊急行動主催)を開催。普光院亜紀さんが、保育虐待がなぜ起きるのか、行政に求められる対応など講演。保育関係者多数が参加しました。

東大阪市は引き続き水道事業は市直営

統合を議会で否決した東大阪は、統合ではなく従来通り市独自で水道事業を運営。この12月議会では、水道料金の3割の値上げの提案を市長が行いましたが、議会が否決し議会の権能が発揮されました(最終的には公明・自民などの提案で2割の値上げが可決。共産など反対)。

八尾市水道事業が4月から企業団に統合

八尾市の条例から水道を抹消

大阪府内5市の水道事業が4月から大阪水道広域事業団に統合します(八尾市、柏原市、岸和田市、藤井寺市、高石市)。これに伴って、12月議会では八尾市の条例や規約から水道に関わる部分を抹消する条例提案が行われ可決されました(反対は日本共産党のみ)。

今議会での水道施設
の廃止は、地方自治法に基づく特別多数議決で行われ、3分の2以上の賛成を必要とし記名投票によって行われました。

奪われる市議会の議決権

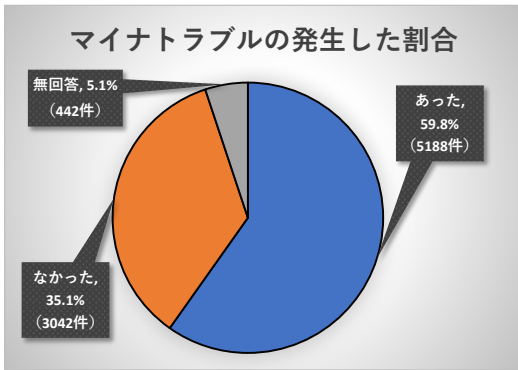
4月からの企業団への統合により、水道料金八尾市独自で決められなくなり、八尾市議会の議決権も奪われます。水道局も企業団水道センターとなり、市職員も企業団職員になります。

大規模災害の時には、従来では水道局は災害対策本部の副本部長ですが、水道センターは参加をしません。
☆☆☆☆☆
水道の自治は奪われ、市民と水道事業の分断が懸念されます。

紙の健康保険証を残させよう！

トラブル続出で不安の声

全国保険医団体連合会は2024年1月末、マイナ保険証のトラブルについてのアンケート調査の結果を発表しました(左グラフ・医療診療所6216件、歯科診療所1744件、病院582件、無回答130件)。「トラブルがあった」との回答は59.8%で、名前や住所が「●」で表記されたり、資格情報の無効などのトラブルが多く寄せられています。12月2日以降も、八尾市内の



全国保険医団体連合会
2023年10月1日以降のマイナ保険証トラブル調査
(2024年1月31日)

診療所においてもトラブルが発生し、受付になかなかたどり着けない事態が発生しています。「こんな事態が続くようならマイナ保険証でなく、今の紙の保険証を残してほしい」との声が多く出されています。八尾市内においても、昨年11月以降、すでに1000人近くの方がマイナ保険証の解除をされています。

解除手続きは簡単

解除の手続きは簡単です。八尾市のホームページでも以下のように掲載されています。

「八尾市国民健康保険の加入者で、マイナンバーカードの健康保険証利用登録(マイナ保険証)の解除を希望する方は、申請により解除することができます」と。後期高齢者医療の方もできます。

詳細は八尾市のホームページ参照、または日本共産党議員団までご連絡を。

中学校給食無償化は 国の責任

恒久的で安定した給食を



学校給食費を
ずっと無償に！

の給食費無償化の制度
(条例化)が必要です。

憲法第26条では「義務教育は、これを無償とする」と義務教育の無償化を高らかにうたい上げています。

広がる声

おいしい中学校給食を

八尾市でも何度も市民から「無償化」を求める請願が出され、2023年6月議会において「無償化」が採択されました。これを受け、八尾市も同年9月からの中学校給食の無償化が実施となりました。

「おいしい中学校給食を」の声は広く上がっています。

早朝に民間調理場で作った給食を学校で再加熱では味は落ちます。

子どもたちが一番多かった時には3200食作っていた小学校給食調理場は、少子化で現在、1200食しか作っていません。中学校の6000食は十分作れます。

しかし、中学校給食無償化は単年度予算内での実施のために、恒久的で安定した無償化がどうしても必要です。

各校に栄養士を置き、食材は教育委員会が責任をもって購入、という小学校給食と同様の中学校給食を子ども達に！

国の責任で無償化を！
そのためにも八尾市で

小学校の調理場を使って

おいしい中学校給食を！

【抜粋】

○ 賛成 × 反対

令和6年12月定例会 本会議議決結果

件名	議決結果	日本共産党	大阪維新の会	公明党	八尾保守の会	八尾の未来を紡ぐ会	新声	会派に所属しない議員
八尾市水道事業の設置等に関する条例等の廃止等の件	可決	×	○	○	○	○	○	○
八尾市から保育虐待をなくすことを求める請願の件	不採択	項目1及び3	×	×	×	×	×	×
		項目2	○	×	×	○	×	×
子どもたちのための予算を大幅に増やし、保育・学童保育の充実を求める請願の件	不採択	○	×	×	×	×	×	×

学童保育のトイレ整備を早急に

12月議会に保育・学童保育等の運動団体から提出された請願の中で学童保育のトイレ問題がありました。かねてから学校のトイレ問題を議員団は調査し取り上げてきました。

今回、学童保育の子どもたちの視点で調査（1月17日実施）を行いました。

学校のトイレの改修が遅れていることが、学校施設を利用している学童保育にも直撃をしています。

学校のトイレの改修を加速することが必要です。また、幼稚園を使っている学童保育では、幼児用の小便器を使用（右写真）しているところもありました。



「未来」会派も賛成した項目2

保育虐待問題で出された請願内容は3項目。共産党議員団は全ての項目に賛成。未来を紡ぐ会は項目2「職員個人の問題だけで片付けず…行政指導を強める」ことに賛成しました。

国保料が高い理由の一つが、国保料には他の保険料にはない「均等割」という一人当たりいくらかという項目があるためです。いま、全国的には18歳未満の「均等割」を全額補助して子育て中の世帯の国保料をまです引き下げようと取り組んでいます。

ところが八尾市は国の基準通り、就学前の子どもの「均等割」を半額補助しているだけです。これを18歳未満のすべての

高い国保料の引き下げを!

子ども達に全額補助しても1億円にもなりません。国保の貯金だけでも8億円〜9億円あります。八尾市の貯金は約100億円もあります。

この物価高騰のなか、18歳未満の均等割を全額補助すること、また、能勢町のように、「保険事業の一環」として、国保加入者一人当たり1万円の給付をし、市民の暮らしを守ることを強く求めます。

3万円給付実現!

キャベツ1個が600円!?!
信じられないほどの物価高騰。「くらし守れ」「消費税引き下げよ!」の声がうずまいています。

そんな中、非課税世帯3万円(子どもにはプラス1人2万円)の給付が実現。

日本共産党八尾市会議員団はさらに住民税均等割課税世帯にも同様の支給を求め、八尾市の施策として実現しました。

2月中旬支給予定です。

議会傍聴に朗報!

「議場の答弁が聞こえにくい」の声を受け、マイク設備の改善へ向かう。